

(公社)神奈川県理学療法士会 災害対策委員会
横須賀・三浦ブロック災害対策キャラバンが開催されました。
神奈川県理学療法士会災害対策委員会 松田 梓

去る平成29年1月26日(木) 神奈川県立保健福祉大学におきまして
「平成28年度 横須賀三浦ブロック災害対策キャラバン」が開催されました。

災害対策キャラバンでは毎年、災害リハビリテーション支援ネットワークを構築していくことを目的
に開催しており、今回はその第6回目として横須賀・三浦ブロックの方を対象に開催いたしました。

災害対策キャラバンは「横須賀・三浦ブロックの災害時における行政の支援体制とリハビリテーショ
ンとの連携について」というテーマで行われました。

講師には横須賀市より河島 夏美氏(横須賀市福祉部高齢福祉課)、
村松 健二氏(横須賀市市民安全部危機管理課課長補佐)、菅原 健介
氏(株式会社ぐるんどびー駒寄)を迎え、横須賀市における災害時
の危機管理体制や医療支援体制など災害時を想定した平時からの取
り組みや連携についてお話しいただきました。



河島氏からは東日本大震災(岩手県宮古市)の支援経験を保健師
の視点から避難所における生活支援、食事管理や感染予防、応急仮
設住宅の戸別訪問といった地域保健活動について具体的にお話し
いただきました。また横須賀市の災害時における保健師の人員配置
から地域支援体制について教えていただきました。村松氏からは
「災害時の対応を考える」という内容で、横須賀市で想定される自
然災害から必要とされる備蓄品、生活物資・飲料水の確保、避難所
の運営について、自助・互助・公助の基本的な考え方についてお話
しいただきました。菅原氏からは東日本大震災における現地コー
ディネーターとしての経験や支援経験から現在展開している地域支
援事業についてお話しいただきました。またエンターテイメント性の高い防災活動や審美性を盛り込
んだ新たな災害対策についてお話しいただきました。



今回も多くの方々にご参加いただき、本当にありがとうございました。また積極的なご協力いただき
ましたブロック長の渡部 政司先生、エリアコーディネーターの芝原 修司先生、会場の手配・調整を引
き受けてくださいました神奈川県立保健福祉大学の方々、当日の運営を手伝っていただいたスタッフの
皆さまも本当にありがとうございました。

今後も災害時のリハビリテーション支援ネットワークの基盤づくりとして各ブロック・地域ごとの行
政機関や保健センターなどとの連携を深めていけるようにしていきたいと考えています。次回は平成29
年2月19日(日)より済生会横浜市東部病院にて「横浜北部ブロック 災害対策キャラバン」を開催する
予定です。より多くの方々のご参加をお願い致します。